

九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和7年3月分：速報)

<対世界>

○輸出総額:1兆1,721億円(伸率: +7.5%) ⇒ 4か月連続のプラス

・順位:1位

【順位は、昭和54(1979)年1月以降(555か月、3月は47か月)による。以下同じ。】

・増加品目:自動車(同+23.5%)、半導体等製造装置(同+30.8%)

○輸入総額:8,401億円(伸率:▲10.8%) ⇒ 2か月連続のマイナス

・順位:34位、3月としては3位

・減少品目:原粗油(同▲25.4%)、石炭(同▲39.4%)

○差引額:3,321億円(伸率:2.2倍) ⇒ 2か月連続の輸出超過

・順位:1位

為替レート: 2025年3月:149.55円/ドル(2024年3月:149.45円/ドルと比べ0.1%の円安)

<品目別動向>

○輸出

自動車(2,581億円→3,189億円、伸率: +23.5%)は、中東(516億円→812億円、同+57.6%)及びEU(239億円→421億円、同+76.3%)向けが増加し、4か月連続のプラスとなった。

また、半導体等製造装置(950億円→1,243億円、同+30.8%)は、韓国(434億円→629億円、同+45.0%)及び中国(393億円→455億円、同+15.8%)向けが増加し、2か月連続のプラスとなった。

一方、半導体等電子部品(1,459億円→1,360億円、同▲6.8%)は、ベトナム(401億円→190億円、同▲52.5%)及び中国(206億円→98億円、同▲52.3%)向けが減少し、2か月ぶりのマイナスとなった。

○輸入

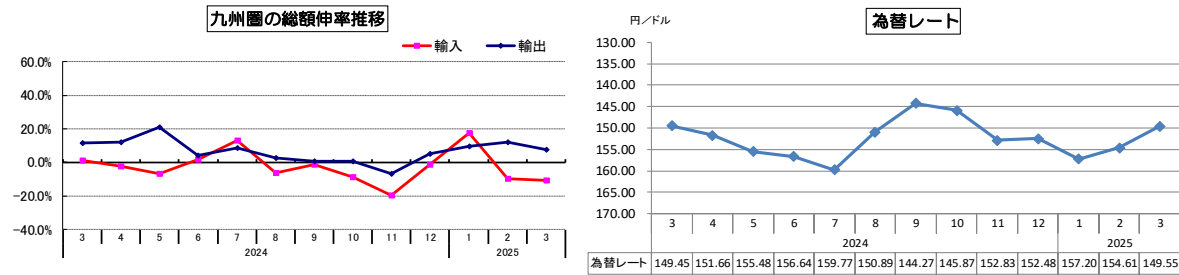
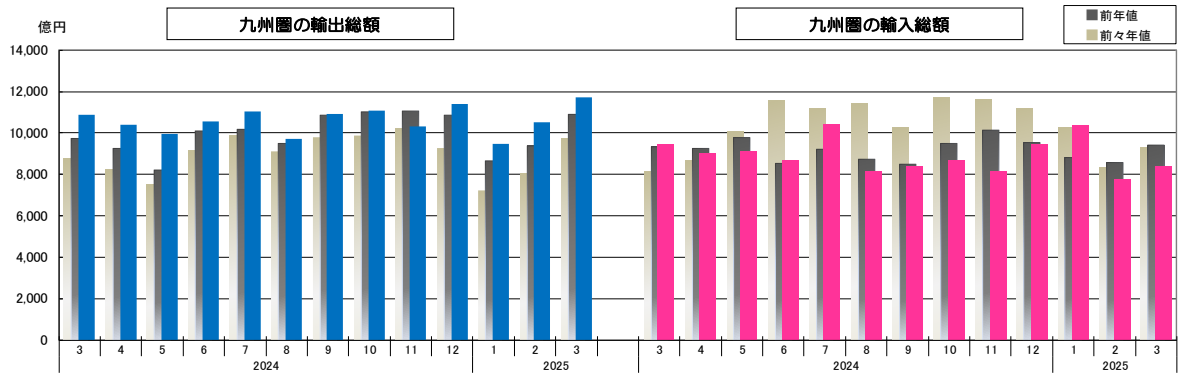
原粗油(254万KL→200万KL、伸率:▲21.5%)、1,991億円→1,486億円、同▲25.4%)は、サウジアラビア(169万KL→59万KL、同▲65.0%)、1,348億円→446億円、同▲66.9%)からが減少し、2か月連続のマイナスとなった。

また、石炭(299万MT→251万MT、同▲16.1%)、892億円→541億円、同▲39.4%)は、オーストラリア(214万MT→166万MT、同▲22.4%)、614億円→352億円、同▲42.6%)及びアメリカ(14万MT→8万MT、同▲41.7%)、68億円→24億円、同▲64.9%)からが減少し、3か月連続のマイナスとなった。

一方、重電機器(49億円→232億円、同4.7倍)は、EU(5億円→164億円、同31.0倍)及び中国(36億円→53億円、同+47.6%)からが増加し、6か月連続のプラスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年同月比

令和7年3月分：速報



九州圏の輸出主要品目推移



九州圏の輸入主要品目推移



※この内容を引用されるときは、「門司税関発表による」と付記してください。